

下水道施設指針類の課題

1. はじめに

先般の東日本大震災において下水道施設被害は甚大な被害を受けると同時に多くの課題を認識し知見を得た。

今後、より安全安心な社会基盤の構築、および災害時にも下水道サービスを継続されるには、これらの課題や知見を整理し、技術指針として整備し次世代に引き継いでいかねばならない。

ここでは、東日本大震災において発生した特筆すべき事象と現行の下水道施設指針類の課題について整理する。

2. 津波による発生事象と指針類の課題

発生した特筆すべき事象	現行指針類の課題
○津波による甚大な被害を受けた。	●津波対策に関する記載なし。

3. 液状化による発生事象と指針類の課題

発生した特筆すべき事象	現行指針類の課題
○土砂閉塞による流下障害及び復旧障害による長期間の下水道サービス停止が発生した。	●土砂流入対策及び迅速な機能復旧方策の記載なし。
○管きよ埋め戻し部の締固め工法において再被害が発生した。	●締固め工法の施工管理にも言及する必要がある。

4. その他

上記の他、極めて希な事象として、広範囲の地盤沈降がある。